

## Q&amp;A

## 腹痛で受診した60歳代男性

## 【問題】

症例：60歳代男性。

主訴：腹痛。

既往歴：慢性C型肝炎（SVR）。

現病歴：慢性肝炎のため通院中。強い腹痛を自覚し前医受診となった。腹部造影CT検査で上部空腸に全周性の壁肥厚を認め（Figure 1）、精査目的に当院紹介となった。シングルバルーン小腸内視鏡検査（経口アプローチ）で空腸に所見を認めた（Figure 2）。

来院時現症：身長167cm、体重70kg、体温38℃

台、血圧、脈拍は正常。眼瞼結膜に貧血なし。眼球結膜に黄疸なし。心音、異常なし。呼吸音、異常なし。下腹部に圧痛を認め、軽度の腹膜刺激症状を認めた。肝脾や腫瘤を触知せず。

血液検査所見：白血球12000/ $\mu$ l（Neut 73%，Lymph 17%），RBC 376万/ $\mu$ l，Hb 12.0g/dl，Plt 25.9万/ $\mu$ l，T-bil 0.8mg/dl，AST 25IU/l，ALT 22IU/l，LDH 181IU/l，Alb 3.6g/dl，CRP 21.7mg/dl。

考えられる疾患は何か？

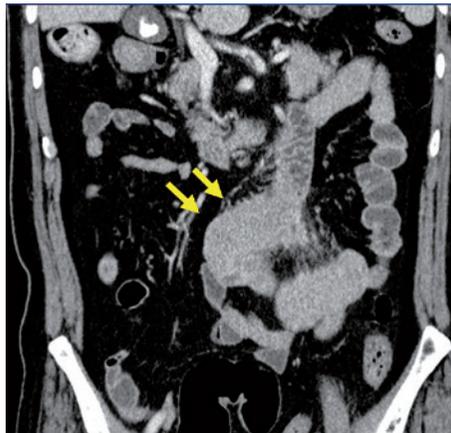


Figure 1. 腹部造影CT検査（冠状断像）。

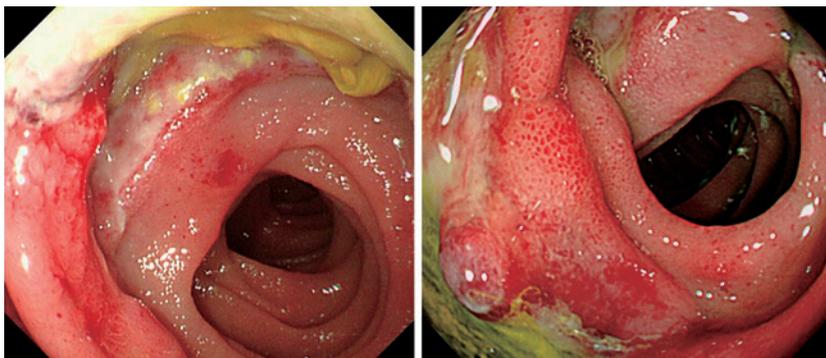


Figure 2. 小腸内視鏡検査。